

安心・安全のグループでは、次のようなことが課題によっています

1. 自然災害について

- ◆ 自然災害に対する避難訓練が行われるとよい。

(地震, 津波, 台風, 高潮, 大雨, 洪水, 土砂崩れ, 竜巻 など)



- ☆過去の災害に係る資料や体験談を聞いたりしながら、ハザードマップ(災害予測地図)を作ったりするワークショップ(体験型学習講座)を開く。
- ☆市役所, 消防団, 行政各区などと協力して, 連絡体制や避難訓練計画を検討し, 避難訓練のできるだけ早く実施できるように呼びかけたり, 活動したりする。

- ◆ 自然災害が起こりにくい町づくりに協力したい。



- ☆里山を整備するお手伝いをする。
- ・土砂崩れを防ぐことができる。 ⇒ 住宅や農地などの被害を防ぐ。
- ・景観が回復し, 人が出入りするようになる。 ⇒ 害獣からの被害を少なくしたりできる。

2. お年寄りの安全について

- ◆ 一人暮らしのお年寄りたちは, 安心して暮らすためにどんなことが必用と考えているのだろう。

- ☆体のきかないお年寄りの家の周りの簡単な修理や庭や生け垣の手入れをする。
- ☆体のきかないお年寄りの買い物や届け物, 連絡などのお手伝いをする。

- ◆ お年寄りが安全に行動したり生活したりするためには, どんなお手伝いができるだろう。

- ☆お年寄りの買い物や通院など, 外出や移動のお手伝いができるかどうか研究する。
- ☆市当局や交通会社などに聞いたり, 働きかけたりして公共交通機関の利便性を高める努力をする。

- ◆ 一人暮らしのお年寄りなどを一人ぼっちにしないために, どんなことがお手伝いできるだろう。



- ☆一人暮らしのお年寄りなどに, 定期的に連絡したり訪問したりする活動を支援する。
- ☆サークルなどと協力して, お年寄りの生きがいづくりの企画をしたり, 協力して運営したりする。

3. 子どもの安全について

- ♥通学路などの見通しをよくし, 子どもが周囲の目から消える死角をなくすることが大切だ



- ☆子どもの登下校や遊び場に対する見守る目を増やす呼びかけをしたり, 組織作りに協力したりする。
(登下校時の見守り ← ウォーキング・犬の散歩の時間をその時間に合わせる, 立ち番に立つ など)
- ☆遊び場や公園の整備をする。
(行政当局へ働きかけをする, ボランティア活動などで整備活動を行う)
- ☆子どもたち自身が防衛能力を高めるための啓発活動やキャンペーンなどを行う。

- ♥不審行動や犯罪行動から, 子どもを守る手立てをくふうすることが大切だろう。

4. 地域の安全について

- ◆ 犯罪のおこりにくい町づくりをすることが大切だろう。

(人が人に対して起こす犯罪だけでなく, 自然を壊したりする不法投棄などについても考える)



- ☆放置された別荘や空き家などの生垣の手入れをする。
- ☆カーブミラーや防犯(街)灯などの増設を働きかける。